

「口でも胸でもお尻でも…全部あげる」

-まいんだいあり えくすとら-
妹NN日記EX

妹視点SSつき
あまラブエッチCG集

byかじむらマーケット



・名前： 沙嬉（さき）
156cm/46kg - 89/62/90 - JK
7つ上の兄超うブ

※本作品は膣以外でのプレイが多めとなっております。



パイズリ、フェラ、アナルバイブ、アナルファック…でもやっぱり最後は…



**イベントCG形式・コミック形式の
複合形式で構成されております。**

**基本15枚(コミック・カットイン形式等)
+差分 計178枚**

テキスト有/無 等合計337枚

画像サイズ: 1600x1200pixel

-まいんだいあり えくすとら-

妹NN日記EX

-沙嬉編-

4月29日

お兄ちゃんとの初めてのエッチ翌日。
昼間はお買い物に出かけたりして
デートしてるみたいに過ごした後、
帰って夜は二度目のエッチ。

でも昨日とは違って、
お兄ちゃんが買ってきた
コンドームを使ってるの。





はじめてはナマがいいって言ったから
勢いでしちゃったけど、
やっぱりちゃんと避妊しないと
ダメだね、って話になって…
私も「…そうだね」って了承した。

私は…ナマでするからには
デキちゃってもいい覚悟で
したんだけどな…

「沙嬉…痛くないか？」

「ん…平気…♡」

初めての痛みに比べたら
昨日より全然大丈夫…なんだけど…

はぁ♡

ほ♡





「...ふっ、激しく感じる...っ」

「ぐっ...ぐっ」

昨日より長く、激しく突かれる。
合間にいっぱいキスされるのが
気持ちいいけど...
なんか...異物感がすごい...





お兄ちゃんがイったみたい。

射精の余韻に浸りながらだけど
首筋、耳、ほっぺた、おでこに
キスしてくれるの、
ちよつと嬉しいな。
えへへ...

ひゅん...

ぐん...

どく...

ふん...

はあ...

はあ...



「あ、ゴムしてるから
すぐ抜かなきゃダメか」

「そだね」

もうちよつと妹のナカに
いたかったな、って顔して
お兄ちゃんが離れる。



「せーえぎ、飲んれみうかったろ」

生温かくてねばねばしてる。
妹のおまんこで気持ちよくなって
これだけ出たんだ…♡



甘いような苦いような…
生臭くて、興奮する
お兄ちゃんの味…

口の中はべっとなぐつていて
ちよつと飲みにくいかも…



「ん……ん……」

ごくん

喉にもからみついているのがわかる。
お兄ちゃんの精液が…私の喉に…
昨日はこれをおまんこに注がれたんだ…

あ…想像したらちよつと
おまんこキュンってなったかも



「えへへ…お兄ちゃんの味だね…♡」

へっ

「……………」

照れたような、
困ったような顔してる。
でも…多分興奮してる顔。



お兄ちゃん...
もしかして
ゴムじゃ気持ちよく
なかった？

oooooooooooo







「んっ……んっ……」

ムニッ♡

ムニッ♡

ムニッ♡

唾液をいっぱい垂らして
おっぱいでおちんちんを挟む。
あ、すごい。お兄ちゃんのお
ちんちんがすごく近い…



「沙糖…もうちょっとおしへてくれるか…っ」

「うんうん」

ぐっ

ぐっ

ぐっ

結構寄せてるんだけどな…
ふわふわして掴みにくいかも。





「……ん」

上から垂れてくる
お兄ちゃんの唾と
私が補充する唾が、
おっぱいの中で混ざり合う。

二人分の唾液が
おちんちんにからみついて……
おっぱいにも塗りたくられて……
これ、結構やらしいかも……

にゅちゅ

にゅちゅ

にゅ

にゅちゅ

にゅちゅ

にゅ



「沙嬌…っ…
このまま…射精して
いいか…っっ」

「んふっ…んっ…んっ…
お兄ちゃんの好きなように…
射精して…」

おまんこの中で起こった射精が
すぐ目の前で…
あ、目を閉じなきゃだめかな？



あつ...すい...
おっぱいの中で
すい...すい...すい...

それに...
さっき射精したのに
またこんなに...

「ん...ん...ん」

ぎゅ

どろろろろろ

どろ

どろ

どろ

「はあ… はあ…」

「気持ちよかった…っ」

「ああ…沙嬉のおっぱい、
良かったよ」

ん…
まだちよつと物足りなそう。
やっぱりナマのおまんこじゃなきや
お兄ちゃんが満足出来ないかな…？

あ…そうだ…！

4月30日

「おしりとか…
興味、ある…？」

お兄ちゃんに
軽く聞いてみたら
すぐを買ってきたコシ…
いきなりおちんちん入れずに
まずはほぐすみたい。





「んあ…ふん…」

膣と違って、
出す方の穴だから
なかなか難しいかも…

「沙嬉…力抜いて…」

グッ…

ぐちゃ
ぐちゃ

にゅる

にゅる…

ぐんぐんぐん



「はっ... はっ...」

うあ...なんか...

じゅわん
じゅわん

じゅわん
じゅわん
じゅわん
じゅわん
じゅわん

じゅわん
じゅわん



「ふっ…
ひっ…」

「これで苦しいなら
まだ俺のじゃ
無理だな…」

そう…だね…
結構苦しい。



「んっっ！」

んっっ

んっっんっん

「動かすぞ」

抜いては挿れて
抜けそうになるほど
引っ張っては戻して…
おしりがお兄ちゃんのおもちゃになってる。

んっっ…
にゅるっ

んっ…
ちゅく
ちゅく
ちゅく

「妹のおしり
開発するのって
どんな気分？」

「すっげー嬉しい」

「……………」

…お兄ちゃん、
変態だよお…





「沙嬉がうしろも
捧げてくれるんだからな。
前も貰ったばかりなのに、
もううしろも したいなんて…
沙嬉って実は結構変態？」

「い…妹のおしり
イジってもお兄ちゃんに
言われたくないい…」

捧げる…だなんて。
まあ…
そうなんだけどね…」



結局一日中おしりをイジられてた。
飽きもせずお兄ちゃんは私のおしりを
ぐちゅぐちゅとほぐしてる。

休憩していちゃいちゃしたり
おまんこなめられたりしたけど
おしりはいじられっぱなし。

閉じなくなったらどうしよう……



「まだすぐ閉じちゃうな…」

「開きっぱなしの方が困るよ…」

かよよめ…

いっぱい舐められて
ふやけていても
まだ…ちゃんと締まる

ひゅっ

ひゅっ

ひゅっ



「お兄ちゃん…いつまで
このカミ」のままなの…」

「沙嬌のいやらしいところ
見飽きないなって」

そんなにじっくり見られたら…
さすがにちよつと恥ずかしい…

む…

ひくっ

ひくっ

「あっ
あっ
あっ
そ…れえ！」

お兄ちゃんがまたバイブを使い始める。
肛門がこすれて…あ、いや…やだ…

ぐっ
ぐっ
ぐっ

に
ちゅっ

に
ちゅっ





「それえ... きまぐらう...」

やつ...だめ...
力抜けちゃう...

いっ
ゅ
ぽっ

い
ゅ

き
ょ...
...

い
ゅ
い
ゅ
い
ゅ





「はあっ……はあっ……ふう……ふう……」

「漏れそうだったか……?」

「とっ」

くっ
くっ
くっ

ん、

んっ

「...お兄ちゃん
今なに考えてるの...」

「え...急にどっしたんだ沙姫」

お兄ちゃんが喉を鳴らしたの、
見逃してないんだよ？

じい...
...っ



「…スカトロ趣味は
なかったけど…
沙嬌のおしっこなら…」

「もうっ！ やっぱり
飲む気だったんだ…」

おしっこ飲むなんて…
さすがにちよつと早すぎない…？



「…イヤだったか」

「い…やっていうか…
心の…準備が…
まだだったから…」

そういうの、
聞いた頃はあるけど…
聞いたことは…あるから…

「心の準備が…順番が
逆になっちゃったけど…
お兄ちゃんになら…
ぜんぶ、あげたいから…」

「したいけど…あんなら
なんでも言ってる…」

「…沙姫…」





「沙糖も、
してほしい
ことがあったら
言っただぞ」

んん

びゅん
ぐい
ぐわい

そう言うど、
またおしりをほぐすのを
再開する。



「じゃあ…
法律婚したいな」

「無理」

「ぶー、諦めるのはやー」

そんな会話をしながら…
ゆっくり私のおしりをほぐしていった。

ヌ425

ヌ425

ズ79
79
…

5月1日

「んっ……」

今日もじっくりほぐしてたけど……
やっぱりちよっと……ううん、
結構苦しい





「い…た…っ」

おしり、切れてないと
いいんだけど…
それより息が…つらい。



「んっ… は… っっ」

「んっっ、沙嬉… 抜くか？」

「……………」

「……………」

首を振る。
もうちょっと、がまん。



「…まずは入り口あたりでやめとーっ」

「ふっ… んっ」

お兄ちゃんが小さく動く。
出ていく時ちよっただけ楽になって
また挿ってくる時苦しくなって…



お兄ちゃんの動きが止まる。
あ…射精してるのかな…
よかった、お兄ちゃん、
ちゃんとイケたんだ…

「ぐっ…」

びゅるっ

びゅっ
どっ



「はぁっ……
はっ……
はぁ……はぁ……」

「まだちょっと早かったかな」

「いっほっ……」

「んっ……
はぁ……はぁ……」



「でも…ありがとな沙嬢。
沙嬢のおしりのはじめて、くれて」

「あは……私こそ……
お兄ちゃんに
おしり捧げられて
嬉しい…」

その日は、
それだけでおしまい。
一緒にお風呂入って、
一緒に寝る。

5月2日

制服とカバンは
持ってきてたから
お兄ちゃんの部屋から登校。

行ってきまーす

…サボっちゃっても
いいんだけどな。
どうせ…
ふふ、まだ未定だもんね。

…おしり、まだちよつとむずむずしてる…
ロストバージンした翌日のおまんこよりは
平気だけど…ヘンな感じ

もぞもぞ

キニツ♡
ひん♡

やっぱり…
サボっちゃえば
よかったかも…

お兄ちゃん…

私…

ヘンだよお…

はぁ…

うん…



今日一日ずっと
おしりがむずむずして…

お兄ちゃんの顔ばかり
浮かんじやってた





「はぁ... はぁ...」

お兄ちゃんのベッド...
お兄ちゃんのおいが
しみついたシーツ...

ズリ

ズリ

…お兄ちゃん
オナニーするの…
久しぶりかな…

実家に帰ってきた時に
こっそりしてたから…
5ヶ月ぶりくらい…?



あのときは想像だったけど…
今はちゃんと思いつける…

お兄ちゃんの感触…
におい…味…
エッチの時の声…

…おちんちんの形…





「お兄ちゃん...
早く帰ってきてよぉ...」

742

742

742



シたくてシたくて
たまらない…

おまんこも…
おしりも…

お兄ちゃんに…
いじられたいよお…

にちゅ

くちゅ

くちゅ
くちゅ

にちゅ

はぁ

はぁ

にゅ

「…今日もおしり…
ほくしてもらえるかな…」

お兄ちゃんのおちんちん…
欲しいよお……

あ…またお尻が
むずむずしてきた…



指に唾をつけて
おしりもいじる。

「ひゃあっ！」

まだちょっと敏感で
びっくりしたけど
でも……

くっくっ
くっくっ
にちゃっ……







「はぁ... はぁ...」

膣口と肛門を同時にいじる。

気持ちいい...
でも...

くっくっくっ
にちゃ...

クチャッ♡
にちゃっ♡



早く帰ってきて...お兄ちゃん。
今日もいっぱいエッチしよ...♡







「お兄ちゃんっ…
はやく…っ
いれてえ…」

「…どうしたんだ」

「今日一日学校で…
ずっとおしりがむずむずして…
お兄ちゃんとエッチすることしか
考えられなかったの…」







「一度挿れたからかな…
昨日よりはほぐれてる」

「ん…」

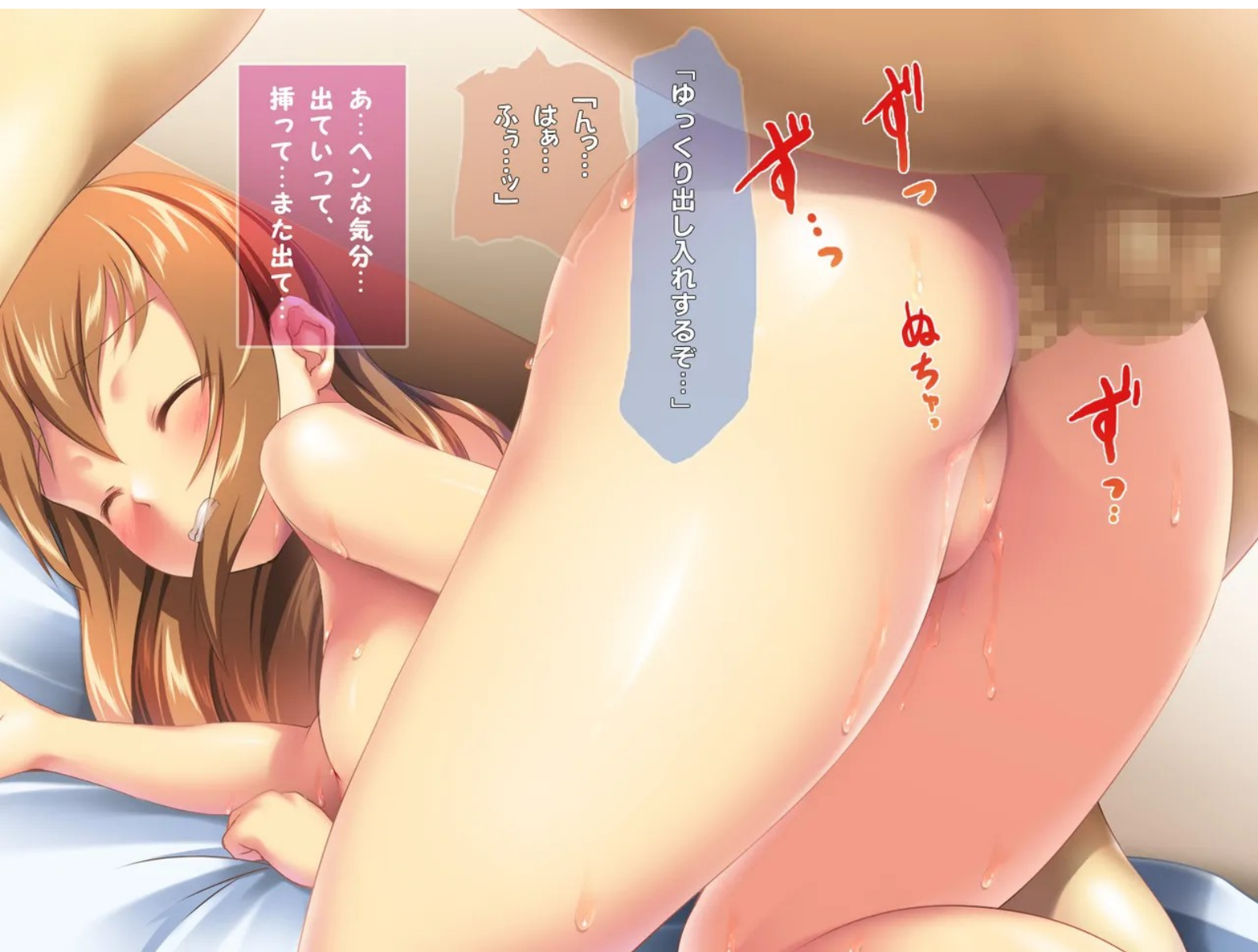
お兄ちゃんも、
同じこと思ったみたい。
私のおしり…順調に
お兄ちゃんのものになってる…♡



「昨日より
もうちょっと奥まで
挿れるからな…」

「ふっ…… んんんん」

ゆっくり、おしりの中を
お兄ちゃんが侵入してくる。
お兄ちゃんに、犯されてるみたい…
いいよ…妹のおしり、犯して…♡



「ゆっくり出し入れするぞ…」

「んっ…

はぁ…

ふっ…」

あ…ヘンな気分…
出ていって、
挿って…また出て…

ずっ

ずっ

ぬちっ

ずっ



私のおしり…拡がっちゃう…
お兄ちゃんのおちんちんサイズになっちゃう…
お兄ちゃんのモノに…なっちゃう…♡

「んっ…んんっ…」

「沙嬉…っ… 沙嬉っ…」

ずっ…
ぬちっ…

ずっ…



昨日より奥で射精してる。
びくびくしてるおちんちんが
おしりの中で感じられて…

「あはっ…♡」

お兄ちゃんにおしり、
犯されちゃったぁ…♡」

「…昨日もしたたる」

「…そうだけど…
こんなこと言う余裕
なかったもん」

どろろ…

まだ苦しいけど…
お兄ちゃんとお話するだけで
ちよっただけ楽になる感じ。



「…ふう…
ありがとな、沙嬉」

「まっ…ふっ…ふっ…ふっ…ふっ…
おれを…」

嬉しいけど

5月3日

お兄ちゃんも休みの日。
今日は朝からやる気まんまん。

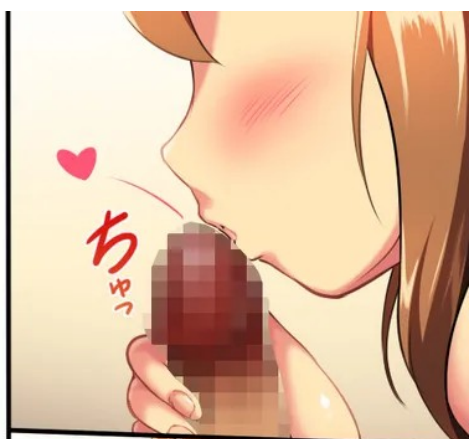
「今回きいっばいジようねっ」





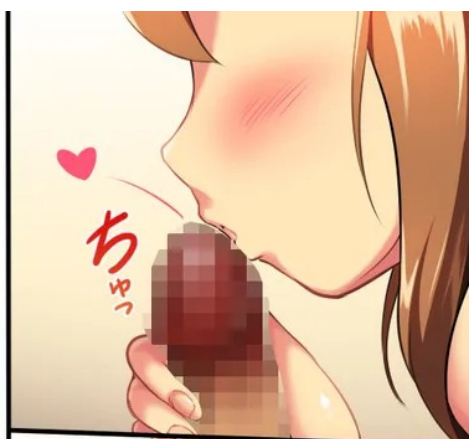






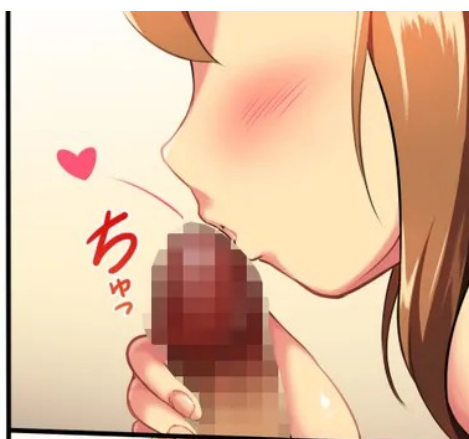


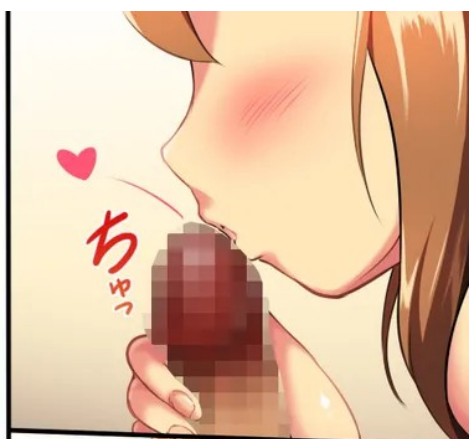




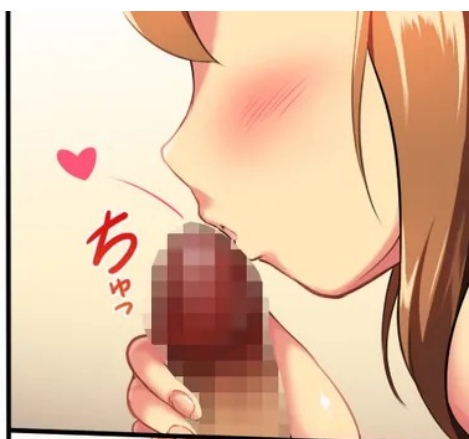






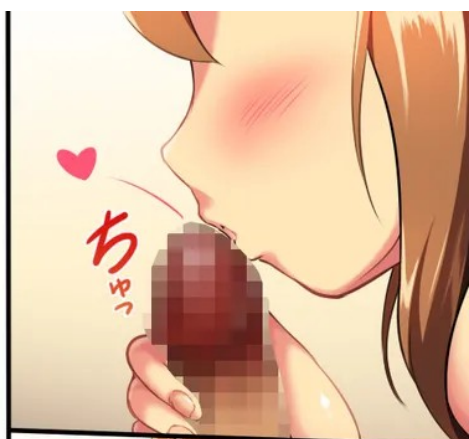
















「うん… 私モ」

「沙嬌…好きだよ」

少しずつ、一緒にいられなかった
時間を埋めていく。
今だけは、ふたりだけの空間…。



ちゅっ

ぐっぐっぐ

れろ



はむ

はむ



今日もお兄ちゃんとアナルセックス。
休日の昼間からいちゃいちゃして
そのまますることに。

「あ…ん…
あ…ん…」



「おじこ……
イイ…かもっ」

やだ…言っちゃった

まだちょっと苦しいけど、それももう
おちんちんが入ってる圧迫感くらいで、



昨日よりも激しく出し入れされる。
それもちよつと気持ちよくて...

「あっ！ あっ！
お兄ちゃんっ...」

「沙嬉っ...
沙嬉っ...」

ぬちっ

ずっ
ちゅ

ちゅ

アッ
ッ

「お兄ちゃん…っ… おしり…

イイかも… 良くなってきた…っ

今日はちょっと… 長め…っ…っ

「わかった…」

お兄ちゃんがすぐ
イっちゃわないように
ペース配分してくれる。

つながったまま休憩して
背中にいっぱいキスしてくれたり、
おっぱい揉んだりして、
ゆっくり、じゅっくり…





「はっ… はっ…
ふっ… ふっ…」

「…へっへっ…」

不意におしりを締めてみたりする
出来る余裕がでてきたから
お兄ちゃんが奥まで挿れるタイミングで
ちよつと…キュッとしてみた。



「えへ… どう…」

「沙嬉っ… それ… いい」

きゅっ、きゅっ、って
リズムよく締めると
お兄ちゃんが喜んでくれる。
あ、でもこれじゃ…

キゅっ

キゅっ



せつかく長くできるように
我慢してくれてなのに
結局私が台無しにしちゃった。

「あはっっ いちばんねっ」

「へ...っ ぽ...っ
っ...っ」

ぽっ
ぽっ
ぽっ



「沙嬉い…」

「めんなさ〜
私がお願したのに」

「気持ちよかったから…
いいけど」

ちよつとおしりに
ハマってきちゃったかな？
んー、それはそれで
なんか…複雑。

5月4日

「んふっ……んじゅっ……」

「はあっ……沙嬢……ッ」

お兄ちゃんのおちんちん……
やっぱり大きい……。

平均とかわからないし
他の人のは見たことないから
あくまで私にとっては、だけど……

ぐほっ

ぐほっ





喉の奥まで
お兄ちゃんに犯されてる…

喘まないように
気をつけながら

お兄ちゃんを奥まで
受け入れる。

ぐほっ
ぐほっ



「えへへ… ぷいん…」

「沙姫…無理はするなよ…?」

「えええ…」

こんな大きいのが…
私のおまんこに…
おしりに入ってたんだ…

ぐぽっ
ぐぽっ



舌でなめ回す余裕も
ちよつと…ないかな
口の中がお兄ちゃんदैっぱい…

ぐほっ
ぐほっ

「ふっ…ふっ…」



「沙嬉…っ…
そんなん…っ…」

あつ…どうしよう…
ちよつとだけ
抜いた方がいいかな？





「沙嬌……」

「かはっ…… はあっ！
うほっ…… はあっ……ぞっへん」

はっ！
はっ！
はっ！
はっ！
はっ！



お兄ちゃんの精液…
すっごい濃いから…
飲むの大変…

「はぁぁ…お兄ちゃんの
精液のにおい…」



酸欠状態でくらくらしてるのか
お兄ちゃんのオスのにおいに
くらくらしてるのか…
どっちかわからなくなる…

「…お兄ちゃん……
きまづよかった…っ」

「ああ…ありがとな」

「んく…」





息が整うまでしばらくは
お兄ちゃんのおちんちんに
ほおずりしながら
頭をなでなでしてもらってた。

「ふふ… お兄ちゃん…♥」

お兄ちゃんのオスの部分…
私の…十カに…ほしい…な…

なで

なで

はー♥

はー♥



「あっ… あっ…
あっ… あっ…
おしこっ…」

今日もお兄ちゃんと
アナルセックス。
だめ…このままじゃ
おしりが好きになっちゃう…。



「沙嬌…
気持ちいいの…っ」

「うんっ… えへっ…
おしり…ハママっチャったかもっ」

「……っ」

あ、おちんちん
ちよつとか々くなつたかな。



「おまんこ
今日はおまんこが
それでおまんこが……」

「イけ……」

「わかんないけど……」

おまんこでまだイけないのに、
おしりで先にイけるように
なっちゃうんだ。



「んっ はっ
はっ はっ」

気持ちいい…
おしり…いいよお…





「っ！ はんたんっ！」

「びくびく... っ... っ... っ...」



「...」

「...」

「...」

「...」



「沙嬌…」

「はっ…はっ…
あっ…あっ…」

す…



「あゝ... あゝ...」

抜かないで...
もうちょっと...このまま...





気持ちよかった…
おしり…すっかり
エッチな穴になっちゃった…

「んっ… はぁ…
お兄ちゃん…♡」

でも…おしりで
イっちゃったから
余計に…

おまんこで…
おにいちゃんのおちんちんで
いきたくなつてきちゃった…

キミ…



「ねえ...お兄ちゃん...」

「なんだ？」

はぁっ
はぁっ

「私…おまへに…おまへに…
お兄ちゃんのおちんちん…
腫イキしたい…」

「ナマで…ぐたつ…」

「おねがい…」

ミチ
シヤノ





「今度は…おまたい…ごめん」

「私…お兄ちゃんの
赤ちゃんだったう…
デキちゃっても……
い…い…」

ミナ

5月5日

「…今日で連休も最後だね」

ゴールデンウィークはずっと
お兄ちゃんの部屋で
お互いを求め合うだけで
過ごしていたけど…
それももうおしまい。

ちゅっ♡

ちゅっ

♡
ちゅっ

ぶっ
ぶっ
ぶっ

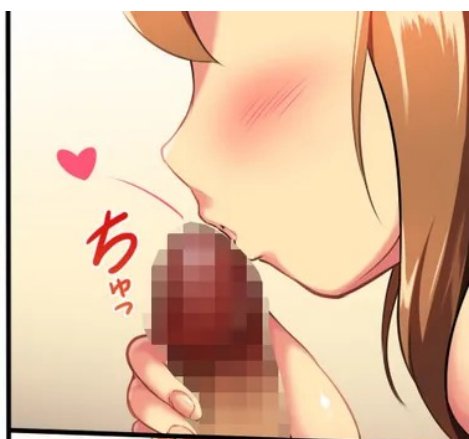
れっ



はむ

はむ



















今日はおしりじゃなくて...
おまんこに...
お兄ちゃんのおちんちん
挿れてもらえる...♡

「はぁ... はぁ...♡」

いぢぢぢ

いぢぢ♡

ぐ
う

「うっ… 妹の素股…」

「ふふ…出しちゃだめだよ？
最初の射精はちゃんとして
一番気持ちいいトコロで
びゅーっ…してくれないかな」

おちんちんのスジと
おまんこのスジを
こすりあわせると
私の愛液を
お兄ちゃんのおちんちんに
染み込ませてみたいで…
マーキング？







「ふふ…お兄ちゃんも濡れてる…
もう挿れたい？
一週間ぶりの…妹ナマおまんこ♡」

「挿れたい」

「血の繋がった妹の沙嬉の膣に
ナマでナカダシしたい」

ぐにゅーっ

ぐにゅーっ
ちゅーっ

ぐにゅーっ
ちゅーっ





今日はおしりじゃない…
おちんちんを挿れる本来の穴…
お兄ちゃんを受け入れる…妹の膣。

「んっ…」

ずぶん

くっ



「あっ… ああああ……」

やっぱり…大きい…
でも…これ…これが欲しかったの…



「お兄ちゃん…やっぱり私…
「っぢゃなきゃダメえ…」

「…沙嬉……っ
俺も…だっ」



お兄ちゃん…もしかして
もうイっちゃったの…？

「えっ…」

「…んん」

ビュルッ



「うは… はあっ…
うあ… ああっ」

まだ出てる…
ああ…お兄ちゃんの…精子…

びゅるる

びゅ

ごぼ



「沙嬌に…っ…俺…
妹に膣内射精してる…ッ
うっ…」

「お兄ちゃんっ…お兄ちゃんっ…」



「妹のおまんこ…どろろっ
沙嬌のナカ…気持ちいい…っ」

「ああっ… もっと…
出したい…もっと…
沙嬌のナカに俺の精子…出したい」

ああああ…



「お兄ちゃんの精子で…
妹の卵子…受精させて♡」

「沙嬉っ…!」

たはっ
たはっ

お互いもう十分に
わかりきったことを
確認するように声に出す。

私たちは兄妹…血縁…

今しているのは…
近親相姦だって…





ナマで近親相姦してる。
お互い妊娠したがってる、させたがってる。

いけないことで…
でも、セックスの
本来の目的は子作りで…

背徳感と生殖本能で…
おかしくなっちゃい
そうなくらいに…
気持ちいいの……♡

たはっ

たはっ

たはっ

「妊娠したいっ… お兄ちゃんっ…
私… 赤ちゃん産みたいっ…
お兄ちゃんの赤ちゃんが欲しいのっ…!」

「沙嬉っ… 沙嬉っ…」

たはっ
たはっ

口にすることで、
考えてるだけよりも
興奮しちゃう。

でも…
妊娠したいのは…
ほんとだから…ね?



5月5日 一夜

「んぷっ……」
「んはっ……」

アッ
アッ

ずっ
ずっ

ずっ
ずっ

ぬちっ
ぬちっ







「ふふふふふふ」

これで3回目…
おまんこの奥に精子を注ぎながら
お兄ちゃんの唾液をすするキス。

ふふふ…

とろふ…

ふふふ♡



「沙嬉…」

じゅっ

ちゃっ

んっ

「はぁ…お兄ちゃん…」

んっ

くっ

3回射精しても、
お兄ちゃんのおちんちは
ガチガチのまま、私のおまんこから
精液が溢れないように栓をしてる。



「んわっ…ちゅっ…」

んくっ…

んくっ…

ぎゅっ

スリ
スリ

ぎゅって抱きしめられたり
なでなでされたり
おっぱいもまれたり
あちこちキスされたり…

交わす言葉も少なく、
ただ交わってる兄妹。



「…沙嬉のも…飲みたい」

「…えっ」

私が上になればいいのかな。
お兄ちゃんに覆い被さられて
どくどく精子注がれるの、
好きなんだけどな…



「ん、わかった」

「…おっちゃん、
このままがいいな」

わろ
わろ

んっっ

そういつてお兄ちゃんに密着するように
足を絡めて、おまんこに力を入れる。

んっっ
んっっ



「…妹の唾なんて、飲みたいの?」

ちゅるるっ

ちゅっ

「飲みたい」

「うわぁっ…」

ちよつと、恥ずかしい。
…けど、なんか嬉しい。



「……んんんん」

んんんんんん

んんんんんん

んんんんんん

お兄ちゃんが私の唾をする。
おちんちんがカクくなってる気がする。

んんんんんん

んんんんんん



「ぶあ…はあ…」

はあ

はっ♡

キスしていると頭がぼーっとする。
舌をしゃぶりつくされたりすると
…ちよつと気持ちよくなっちゃうし。
おまんこも、きゅんってする。



「沙嬉の味… もっと」

「……ん……」

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

んっ
んっ
んっ

口の中に唾をためて、
口移しでお兄ちゃんに飲ませる。
一滴でも多くすすろうとして、
舌を、歯茎を、唇を
しゃぶりつくされて…

ぢゃっ

いん

すっ

んっ

(は持たっ…)

ぐっ

ぐっ

妹の唾、おいしい？
もっと…あげるね…

どれくらいお兄ちゃんに
唾液を飲ませていただろう。

すっかり頭がくらくらして
休憩したくなつたところで、
また、おちんちん
じゅぽじゅぽされてる。

お兄ちゃんに
抱きしめられて、
キスされて……

お兄ちゃんのしたいだけ、
されるがまま…

「あっ... あっ」

ちゅ

$$4 = 2$$

٤٠

ズ

ズ



“ ”

「
っ



「沙嬉…また…ナカに出すぞ…」

「ん……お兄ちゃんの精子、
いっぱいさっうだいい♡」

グッ

グッ

グッ

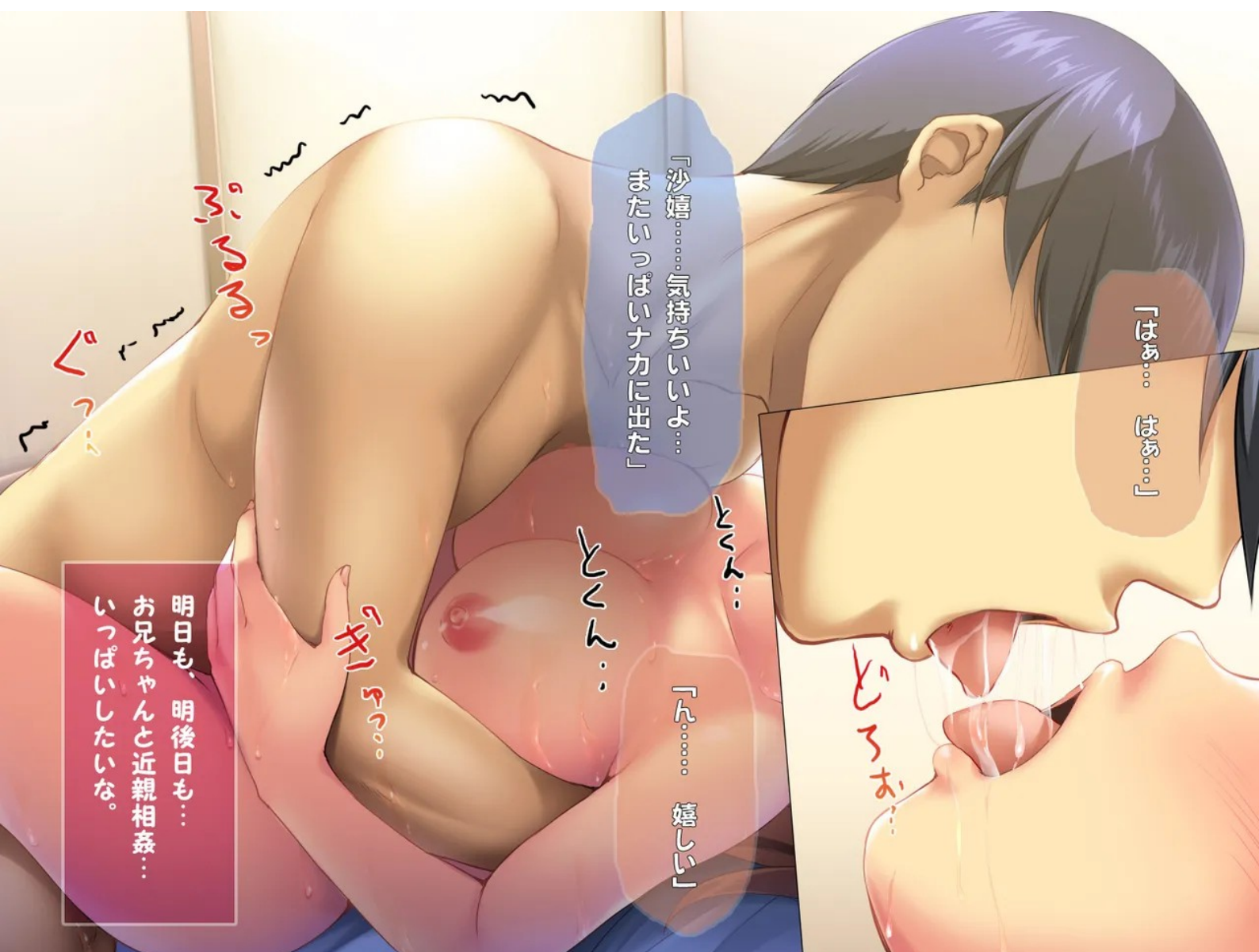
グッ

ぬはっ

ぬはっ







「はあ... はあ...」

「沙嬢...気持ちいいよ...
またいっぱいナカに出た」

とくん...

「ん... 嬉しん」

とくん...

げんご...

どろお...

明日も、明後日も...
お兄ちゃんと近親相姦...
いっぱいしたいな。

「これから毎週来るわ…♡」

「おまんこでも…お尻でも…
私のぜんぶ、
お兄ちゃんのものだから♡」

「ナマでいっぱい気持ちよくなって…
赤ちゃん出来ちゃったわ…
産ませてね…♡」





そしたら…
ずーっとお兄ちゃんと一緒。
サボる必要もない、
ガッコに行かなくていいんだもん。

法律婚は出来ないけど…
お兄ちゃんのお嫁さん♡



「今射精したばかりだけど…
もう一回……いいか？」

「あはっ、そんなこと…
聞かなくていいよ！」

「……んん♡」

「んんん、んんん。」



コンドームでせき止められない、
妹の膣にダイレクトに注がれる
お兄ちゃんの精子。

お兄ちゃんが私のカラダに夢中になって、
気持ちよさそうにしてるのが、嬉しい。

もっと私を求めて…





「好き...♡おっぱい♡」

「んっ...♡」

んっ

おっぱい

んっ

んっ



「ふふ…妹のナマお乳と…射精やねる…
「お母さん…ん」

もう何回目の膣内射精だろう。

どくどく…

おっ

おっ

おっ



「…嬉♡」

排卵日…いつかなあ…
もうそろそろかな…?
ちゃんと計算しなきゃ…

ホントに…お兄ちゃんの赤ちゃん…
欲しくなってきたな…

ちゃー！♡

れろ

れろ

ああ…

「…沙嬉…俺も…大好きだぞ」



“デキちゃったら”じゃなくて…
“子作り”…しちやお？

兄妹で…近親相姦子作り…
したいな…♡

って言ったら…
お兄ちゃん、
なんて答えるかな…

おしまい





































ぐ
い
い

し
ち
っ

に
や
る

ぐ
ち
っ

に
や
る

ず

ぐ
い
い

ぐ









グ

ぐちゃ
ぐちゃ

にゅる

にゅる...

にゅるにゅる











































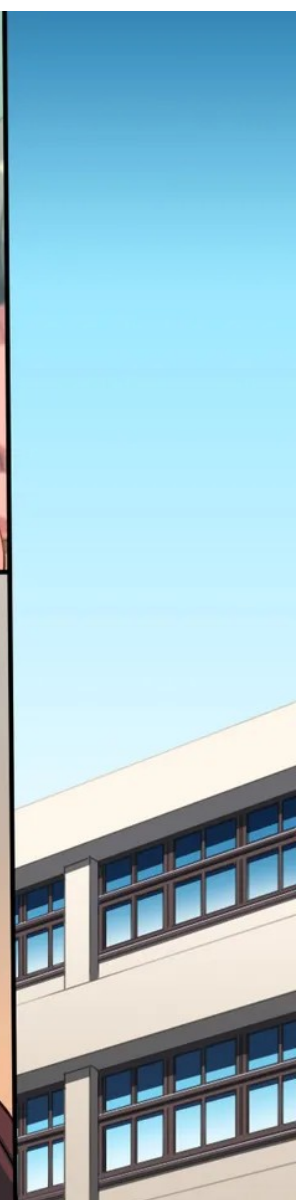




ニ、お...











































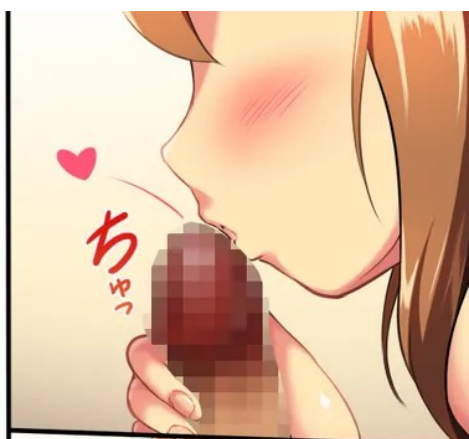




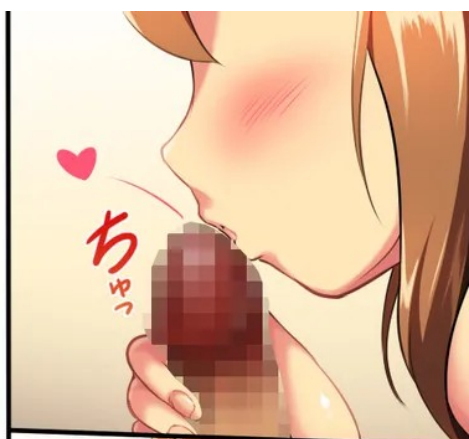








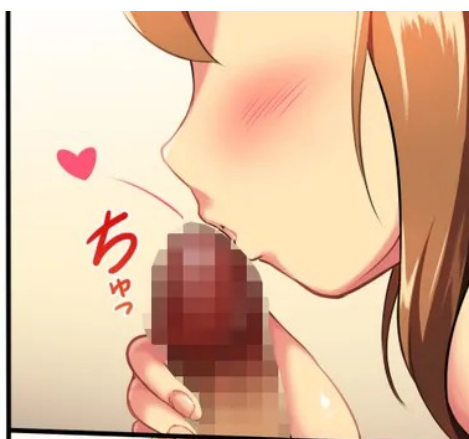


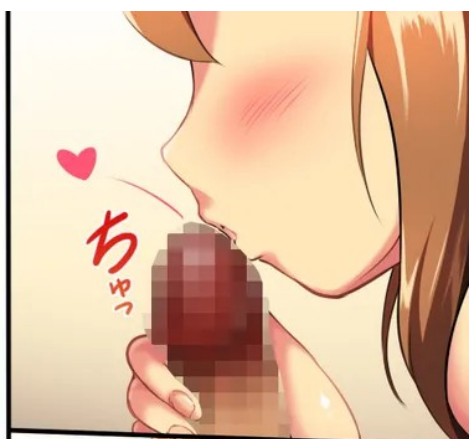


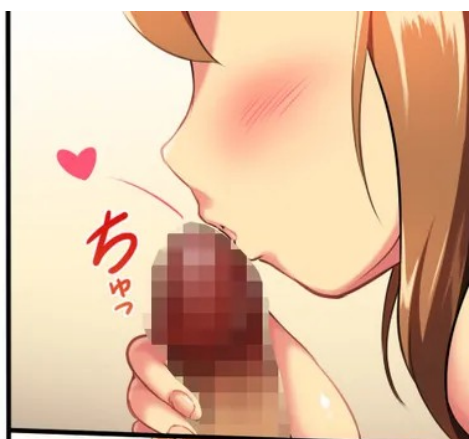


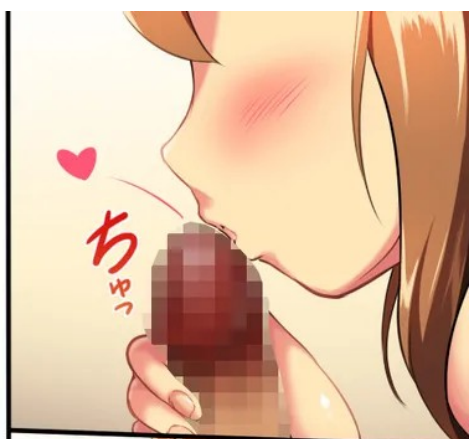


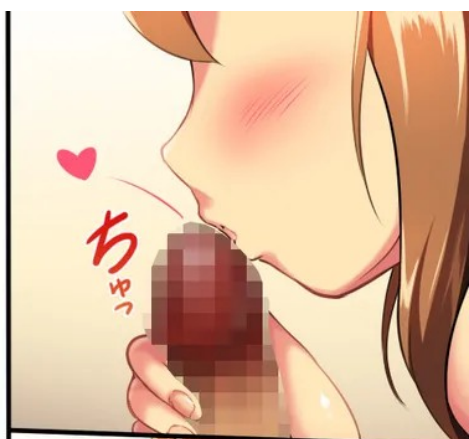


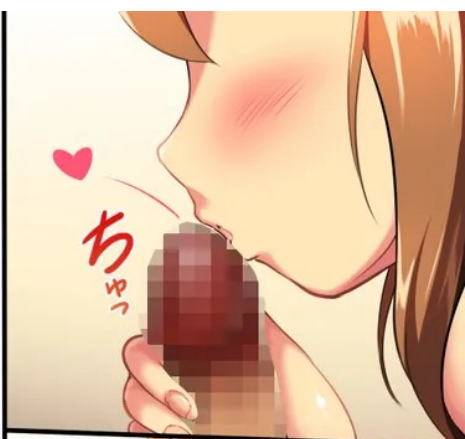


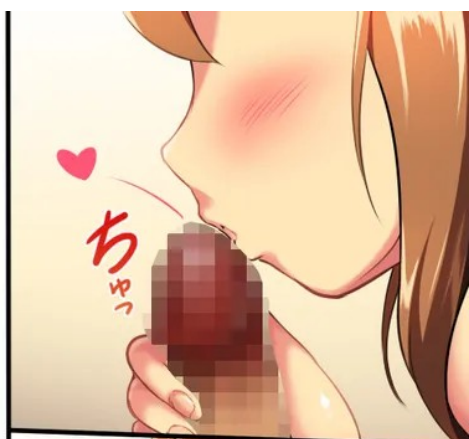




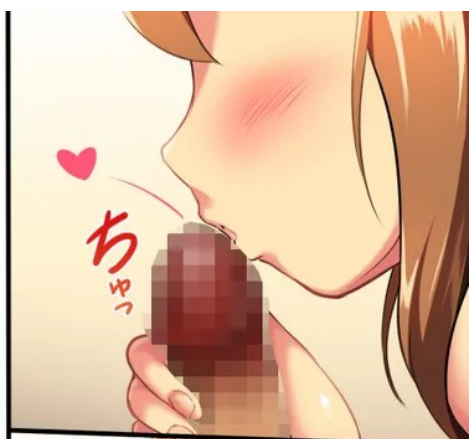














ぬちゅ

アッポ

ずっちゅ

チゅ

アッポ





















































